



命を守るスタンプカード

乳幼児を対象とする救命講習を受けてもらおうと、9月中旬から「命を守るスタンプカード」を母子健康手帳の交付時に配布します。これは、心肺停止状態の乳児の救命活動を経験した女性消防士が提案した内容を基に実施されるものです。

スタンプカードは2枚仕立てで、1枚は1歳6カ月児健康診査までに、もう1枚はそれ以降3歳児健康診査までに使うようになっていきます。「パパ・ママ救命講習」や「乳幼児を持つ親のための救命講習」のほか、健康診査、消防局・市保健所が開催するイベントなどに参加するとスタンプが押されます。スタンプを集めることで乳幼児の救命講習を受けることができ、万が一に備えた知識を身に付けられる仕組みです。

集めたスタンプ数に応じてプレゼントを受け取れますので、この機会にぜひ救命講習を受講して、「命をつなぐ」技術を習得してください。なお、「命を守るスタンプカード」希望者には9月中旬から最寄りの消防署でも配布します。

FAX 926 91808  
問(消)警防課 926 9227



乳幼児を持つ親のための救命講習参加者にスタンプを交付(8月3日)

# 「命を守るスタンプカード」スタートへ

乳幼児対象の救命講習を受けて！

## 9月9日は救急の日

### 救急医療は命を守る、街の大切な資源です。 適切な利用にご協力を



「日中は忙しいから」「待ち時間が短いから」など緊急性がないのに夜間や休日に救急病院を受診する人が増え、医療スタッフの負担が大きくなってきています。

このままでは、本当に治療が必要な人への対応ができなくなります。今の救急医療体制を維持するため、次のことにご協力ください。

#### 昼間に受診しましょう

救急病院は応急処置をする機関です。昼間など、診療体制が整っている通常の診療時間内に受診しましょう。

#### 「かかりつけ医」を持ちましょう

日ごろから何でも相談できる「かかりつけ医」を持ち、早めの受診を心掛けましょう。また病気やけがに備えて、薬を常備しましょう。

#### 子どもの受診に迷ったら

ガイドブックと電話相談でまず確認を

急な発熱など子どもの様子がいつもと違うなど受診に迷ったときは、まず「こどもの救急ガイドブック」や「県小児救急医療電話相談」で確認してください。

日ごろから健康状態をよく観察し、病気について正しい知識を身に付けましょう。慌てず行動することが大切です。

#### こどもの救急ガイドブック



今すぐ救急病院へ連れて行くべきかどうか迷ったときの目安を紹介しています。医事薬事課(市保健所<萱町六丁目>1階)または市ホームページなどにあります。

#### 県小児救急医療電話相談

夜間に電話で、看護師などが家庭での応急処置などをアドバイスしてくれます。

毎日19時～翌8時

短縮ダイヤル #8000

ダイヤル回線 ☎913-2777

※救急病院当番表は、毎月15日号に掲載しています

問 医事薬事課 ☎911-1804 ・FAX 923-6618

### 命の大切さを知るきっかけに



宮浦 織 消防士

救急現場で直面したのは、目を閉ざしたままの幼い子どもを前に、口頭指導だけを頼りに、胸を押し続けるお母さんの姿。「一度でも練習したことがあれば」と後悔したと思います。1分1秒を争うことだからこそ、正しい知識を多くの人に持つてほしいです。

このカードを通して、少しでも多くの方が、自分の子どもの命を守る知識や技術を身に付けられれば、また学んでいる親の姿を通して、子どもたちが命の大切さを知るきっかけになればうれしいです。



ボランティアについて意見交換

## 市長と話そう！ タウンミーティング

### 世代別・職業別 ボランティア

### 地域別 石井地区



地域の課題を話す参加者



塚野 加代さん (越智町)

#### ◆情報発信を積極的に

活発な意見交換のなかでボランティアに関心さまざまな意見を聞くことができ、非常に良い機会になりました。ボランティア活動の情報をもっと積極的に広報したいと思います。

ボランティア活動を通して福祉について意見交換しようとして8月5日、タウンミーティングが市総合福祉センターで行われました。約20人のボランティア関係者が集まり、「ボランティア活動に対する、職場や企業自体の理解が深まる機会を増やしてほしい」「小中学校での福祉教育を充実してほしい」などの意見が上げられました。

● 今日聞いたことを持ち帰り、いろいろな場所で役立てたいと思った



石井地区まちづくり協議会会長 池田 秀雄さん

#### ◆「石井」らしいまちづくりを

地元住民が地域の課題など質問し、それに対し丁寧に市長・担当者に答えていただき非常に有意義な時間でした。

石井地区のまちづくりについて意見交換をしようとして7月26日、石井支所でタウンミーティングが行われました。参加者から「石井地区で作成した史跡・文化財マップを使い、石井への愛着を持ってもらうための利用方法について市の意見を聞きたい」との質問に、市長は「敬老会などでの歴史散策など、使い道はたくさんある。困っていることがあれば遠慮なく相談してほしい」と呼びかけました。

また、市長は最後に「これからも皆さんとしっかりと連携をしながら、まちづくりを進めていきたい」と話しました。

#### ■意見・要望

● 高齢者にやさしいまちづくりを実践するには、携帯電話のメール機能やアプリを利用した、各町で管理できる地域の情報発信手段ができればいい。

#### ■感想

● 人と人とのつながりづくりが大事だと思いました

問 タウンミーティング課 ☎948 63333 ・FAX 934 23366